

# 依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会報告書概要

## 検討の背景

依存症は適切な治療と支援により回復が十分に可能な疾患である一方、依存症の治療を行う医療機関が少ないことや、治療を行っている医療機関の情報が乏しいこと、依存症に関する効果的な治療方法が見つかっていないことなどの理由により、**依存症者が必要な治療を受けられないという現状があるため、具体的な対応策の検討が喫緊の課題**

## 今後必要と考えられる取組

### ①本人や家族が気軽に依存症に関する相談ができる体制の整備

- ・ 本人やその家族が**身近に相談できる場所を積極的に周知**すべき
- ・ 国と学術団体等の関連団体が協力して**相談支援ガイドラインを策定**することが望ましい
- ・ 医療機関や精神保健福祉センター、保健所などの**関係機関の相談員に対し研修を実施**することが望ましい

### ②医療機関、行政、自助団体の連携体制の整備

- ・ 国において地域における**依存症対策の実態把握についての調査**が求められる
- ・ **関係機関同士の連携を図るガイドラインを策定**し、適宜、**関係機関同士が連携を図る**ことが望ましい
- ・ **精神保健福祉センターの家族教室を充実させる**とともに、**専門相談員を配置**し、相談支援や関係機関の連携・調整を図ることが望まれる

### ③必要な医療を受けられる体制の整備

- ・ 関連団体が**医療関係者向けの依存症診療ガイドラインを策定**し、医療関係者向けの研修や教育カリキュラムを充実させることが望まれる
- ・ 国と都道府県が連携して、**各都道府県に1箇所以上の依存症治療拠点機関の整備**し、地域全体の依存症に対する診療機能の向上を目指すことが期待される
- ・ 依存症の**効果的な治療薬、心理社会的アプローチの開発**には、国の研究開発への支援、治療効果の評価が期待される

### ④当事者の状況に応じた回復プログラムの整備

- ・ 関係機関で提供される**回復プログラムについて**、国と関係機関が連携して、**当事者が必要な回復プログラムを受けられるような環境整備**が望まれる
- ・ 国の支援により、関連団体が患者の個別の状態像に応じた**回復プログラムの研究・開発**が期待される

### ⑤地域における本人やその家族の支援体制の整備

- ・ 国、精神保健福祉センターや保健所が主体となって、**地域住民に対し依存症についての普及啓発活動**を行うべき
- ・ 精神保健福祉センターで**家族向けの研修会を充実**させることが望ましい
- ・ 国の支援により、関連団体が**家族向けの回復支援プログラムを開発**し、家族の回復を図ることが期待される